

16日 金曜

エレミヤ

48:36 それゆえ、私の心はモアブのために笛のように鳴り、私の心はキル・ヘスの人々のために笛のように鳴る。彼らの得た富も消えうせたからだ。

48:37 彼らは頭の毛をみなそり、ひげもみな切り取り、手にもみな傷をつけ、腰に荒布を着けているからだ。

48:38 モアブのすべての屋根の上や、広場には、ただ嘆きだけがある。「わたしがモアブを、だれにも喜ばれない器のように、砕いたからだ。・・・主の御告げ。・・・」

48:39 どうしてこうも打ちのめされて、泣きわめくのか。どうして、モアブは恥を見、背を見せたのか。モアブは、その回りのすべての者の物笑いとなり、恐れとなってしまった。

48:40 まことに、主はこう仰せられる。「見よ。彼は鷲のように飛びかかり、モアブに向かって翼を広げる。

48:41 町々は攻め取られ、要害は取られる。その日、モアブの勇士の心も、産みの苦しみをする女の心のようになる。

48:42 モアブは滅ぼされて、民でなくなった。主に対して高ぶったからだ。

48:43 モアブの住民よ。恐れと穴とわなとが、あなたを襲う。・・・主の御告げ。・・・

48:44 その恐れから逃げた者は、穴に落ち、穴から上る者は、わなに捕えられる。わたしがモアブに、彼らの刑罰の年を来させるからだ。・・・主の御告げ。・・・

48:45 ヘシュボンの陰には、のがれる者たちが力尽きて立ち止まる。火がヘシュボンから、炎がシホンのうちから出て、モアブのこめか



みと、騒がしい子らの頭の頂を焼いた。
48:46 ああ。モアブ。ケモシュの民は滅びた。あなたの息子はとりこにされ、娘は捕虜になって連れ去られた。

48:47 しかし終わりの日に、わたしはモアブの捕われ人を帰らせる。・・・主の御告げ。・・・」ここまではモアブへのさばきである。

38節まではモアブのための嘆きが続きます。39節からはモアブ滅亡の様子が預言されています。モアブに向かって「飛びかかる」のはバビロニアです。その強さと残忍さによって、モアブの人々は絶望に陥ります。

このように異教の国どうしの争いは、神の民には一見関係ないように思えるかも知れませんが、そこには神さまのご計画の進展があるのです。イスラエルの敵が滅ぼされます。そしてイスラエルにも試練が襲うのですが、結果的には神様がからの憐れみの回復があります。

神を信じないこの世の争いも同じです。クリスチャンには関係ないようですが、その背後には主にご計画があるのです。私たちはこの世を注視し、主のみこころを知り、ご計画を悟り、そして祈りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

